

なんでも情報コーナー

2020年に開催される「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」では、公募により全国63自治体から提供される国産木材を使用して選手村ビレッジプラザを建設するプロジェクト「日本の木材活用リレー～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～」が進められています。

島根県から提供される木材のスギ原木は 県有林育ち

島根県ではこのプロジェクトに、県産マツ材とスギ材を県内工場で加工し提供します。このうちスギ材は県有林で生産された木材です。

8月に提供木材が東京へ納められる際には出発式が行われる予定です。

また、提供木材は大会終了後の施設解体に伴い各自治体へ返却され、それぞれの地域で活用されます。

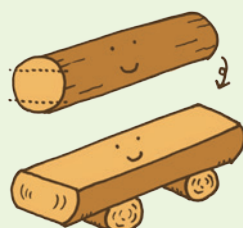


原木は県内製材工場にて梁や柱、板等の建築用木材に加工されます。

同じスギ材で県民の森にベンチを作ります

県民の皆様にも、ビレッジプラザ建設用提供木材と同じスギ材に触れていただけるよう、県民の森にベンチを作ります。小田川沿いの広場等に設置予定です。

どうぞお楽しみに！



ひとつずつ形が違います



丸太を大胆に使い、木のどっしりとした雰囲気を感じられるベンチ、テーブルが出来上がりそうです。

【県有林管理スタッフ】

島根県立農林大学校・林業科 令和2年度 学生募集

いざ来たれ！ 森林・林業の未来を切り開く挑戦者たち

◆募集人員及び修業年限等

科 名	募集人員	修業年限
林 業 科	20 名（昨年度より 10 名増員）	2 年

◆入学試験の区分等

試験区分	願書受付	試験日	合格発表
学校長推薦入試	R 1 年10月 2日(水)～10月16日(水)	R 1 年10月30日(水)	11月20日(水)
一般入試	前期 R 1 年11月13日(水)～11月27日(水)	R 1 年12月11日(水)	12月24日(火)
	後期 R 2 年 1月10日(金)～1月24日(金)	R 2 年 2月13日(水)	2月20日(木)
地域推薦入試 ※	R 1 年10月 2日(水)～11月27日(水)	随時(願書受付後10日以内に試験日を通知)	試験日から2週間以内
自己推薦入試	R 1 年10月 2日(水)～10月16日(水)	R 1 年10月30日(水)及び10月31日(木)	11月20日(水)
試験場所	島根県立農林大学校 大田本校（大田市波根町970-1）		

※印：認定事業体・流域林業活性化センター等の推薦



詳しくは「学生募集要項」をご覧ください

令和2年度 学生募集要項・学校要覧等は、島根農林大ホームページからご覧いただけます

<http://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>

オープンキャンパス・学生募集の詳細につきましては、島根県立農林大学校教育スタッフ[教務担当]までお問い合わせください。(電話 0854-85-7012)



研究の森から中山間地域を応援します

特集 しまねのニューフェイス

これは？



えっこれも？



島根で生まれたエノキタケ品種「黄雲」【きのこ・特用林産科】

これからの森づくりで注目される成長の早い樹木【森林保護育成科】

野生のエノキタケは
傘が大きく開き
色は茶色

7か所で
発見



島根で生まれた エノキタケ品種「黄雲」

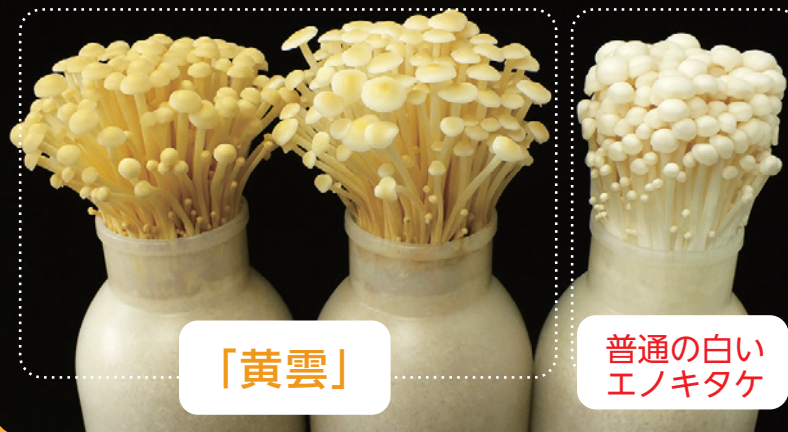
※品種登録出願中

県内に生える野生エノキタケだけを使って
中山間地域研究センターが開発し
県内で生産・販売される

ご当地特産品 **完全オリジナル**

一押しポイントは
‘シャキシャキ’とした食感！

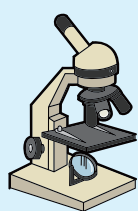
昨年から県内で生産されています
色は黄色く、普通のエノキタケより
傘が大きく、柄が太くて長いです
同じ黄雲でも、色の濃さや、
株の形を変えることができます



「黄雲」

普通の白い
エノキタケ

センターの実験室で



試験管で
育つ姿は
まさに
エノキタケ

親エノキ
7種類ゲット

親エノキからそれぞれの子エノキを作り
同じ家系の中でたくさんの孫エノキを作り
色、形、大きさ、重さを比べて優れた子を選び
くり返し、くり返し作っては選び
次に、優れた家系同士の子をたくさん作り
量と質の両面から総合的に判断して
6年を費やしてようやく一つが決まりました

品種「黄雲(こううん)」は
幸運を願う名前です
幸せの黄色いエノキを
ぜひ一度ご賞味ください

HAPPY



買える場所は？ 時期は？ (予定)

奥出雲舞茸直売所 10月下旬～

奥出雲町八川 (国道314号)

道の駅瑞穂 | 産直市みずほ 1月～

邑南町下田所 (国道261号)

お問い合わせ：きのこ・特用林産科 (電話：0854-76-3815)

センダン (梅檀)

沿岸部や里山などに自生し、街路樹や公園木としても身近に見られる落葉広葉樹です。

枝分かれしやすい性質がありますが、近年熊本県で開発された「芽かき」技術によって、まっすぐな幹にすることが可能になりました。

成長が早く、条件の良い土地だと植栽から2年で5～6mになります。切り株から芽を出して再生するので、伐採後の植栽などにかかるコストの削減が期待できます。

県内で過去に造林された事例がないので、管理方法や育苗方法などを研究しています。



コウヨウザン (広葉杉)

中国原産の常緑針葉樹で、最大約35mの高木に成長します。細長く硬い葉が特徴で触るとチクチクします。針葉樹では珍しく、切り株から萌芽することも特徴です。

生育適地はスギに近く、木材の性質はヒノキに近いといわれています。

他の針葉樹に対してどれだけ成長が早いのか、スギと比較する試験などを行っています。



植栽2年後の
センダン

これからの 森づくりで 注目される 成長の早い 樹木



近年、収穫期を迎えた森林の伐採が盛んに行われていますが、伐採跡地によく植えられるスギやヒノキは収穫できるまでに40～50年かかります。そのため、20～30年で収穫可能な成長の早い樹木が注目されていますが、これらの樹種は生育に適した環境や苗木の作り方などがあまりわかりません。

このため、当センターでは、これらの植栽適地や育苗技術の研究を行っており、このうち主に取り組んでいる3つの樹種を紹介します。

オニグルミ (鬼胡桃)

川沿いなど湿った場所に自生する落葉広葉樹です。

クルミ材は色合いが良く、加工後の曲がりや狂いが少ないため、フローリングや家具用として人気が高まっています。また、実がおいしく栄養価も高いため、木材・食用の両面で利用が期待できる樹木です。しかし、国内では木材利用のために植栽された例がほとんどないため、育林技術を研究しています。



お問い合わせ：森林保護育成科 (TEL:0854-76-3822)